

東邦キャンパス

平成 25 年 (2013 年) 1 月 7 日

発行 学校法人 東邦学園

〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘3丁目11番地

TEL 052 (782) 1241 FAX 052 (781) 0931

H P click! 検索 愛知東邦大学
東邦高等学校



P K戦を制して優勝を決め、喜ぶ東邦高校イレブン 読売新聞社提供

生徒・学生の活躍輝かしく

明けましておめでとうございます。学園は今年4月、1923(大正12)年の創立から満90年を迎えます。来春まで「90周年」の冠のもと、秋を中心とした諸行事を通じて、学園に関心が一層集まる機会にする計画です。最も大切な「学び」の充実、そのための環境も整えます。

記念の年を前に、生徒・学生の大変嬉しいニュースが相次ぎました。

歓喜あふれてキーパーに駆け寄る写真は、東邦高校サッカー部が第91回全国高校サッカー選手権大会に、9年ぶり4回目の出場を決めた瞬間です。雨中の2012年11月17日瑞穂競技場、延長さらにP K戦の末に岡崎城西を2-0で破り栄冠を勝ち得ました(14~15ページ参照)。

右の写真は第21回全日本大学女子サッカー選手権へ初出場した愛知東邦大学女子サッカー部です。フットサルから始めて創部まだ6年、歴史も長い中・大規模ライバル校を抑えての出場は快挙です(19ページ参照)。さらに大学では、自主活動で投攻守を鍛えてきた軟式野球部が、東日本学生軟式野球選抜大会(11月・東京)で見事優勝を果たしました(18ページ参照)。





愛知東邦大学

今年東邦学園は 90周年を迎えます



「真」と「信」を誇ろう

東邦学園理事長 柿 直樹

東日本大震災は2年近く経ても記憶生々しく、経済は「失われた20年」と言われる状況ですが、静かに抱ける自負の一つに長寿企業の圧倒的多さがあります。

日本には江戸時代から続く創業200年以上の企業が2008年時点で3,113社あり、世界最多なのです。2位がドイツの1,563社、3位フランスは331社、4位イギリスが315社ですから、その多さが際立ちます(後藤俊夫・光産業創成大学院大学教授調べ)。では老舗の企業や組織に共通の秘訣はあるのか？

個人なら自分ひとりで律することができます。でも企業になれば経営者も社員も入れ替っていきます。

明治45(1921)年までに創業した4,000社に「重要視すべきことを漢字一文字で」とアンケートしたところ、「信」が圧倒的に多く、2位が「誠」、さらに「継」「心」「真」だったそうです(帝国データバンク2008年調査)。

「信」と「真」の文字を見て小踊りしたくなりました。建学の精神「真に信頼して事を任せうる人格の育成」は、老舗を担う多くの方とも思いは同じでした。

学園は今年4月、創立満90年を迎えます。様々な歩みを経つつも、建学の精神に基づく教育が90年を刻んだことに感謝し、誇り高く歩みを進めましょう。



大学の現在

愛知東邦大学学長 成田 良一

日本の大学は大きく変化しようとしています。学生も多様化し、それに合わせて大学での教育目的を明確にして、教育方法も大きく変える必要があります。この課題に対しては色々な議論が起こっています。大学とは何をやる場所なのか、ということが今問われているように私には感じられます。閉塞したアカデミズムであることは許されません。しかし、一方で卒業後の進路を確保するために学生を追い込むだけの装置であってはなりません。

世界で最初の大学は12世紀の都市を拠点としたボローニャ大学です。このような都市型の大学は一度衰退し、19世紀に国家と結びついたフンボルト型大学として復活しました。日本も明治時代にこれを取り入れ帝国大学が作られました。多くの人の持つ大学像は近代日本のものですが、歴史的にはかなり変遷しています。大学の「常識」さえも疑うことが必要でしょう。

東邦学園90年の中では、高等教育を担って多くの人材を世に送り出しました。教育に関する考え方も時代により移り変わってきています。ただ、実学的という個性は貫かれているように思います。

現在模索中のことではありますが、本学も東邦学園の個性を活かした新しい大学の実現を図りたいものです。



創立90周年を迎えて

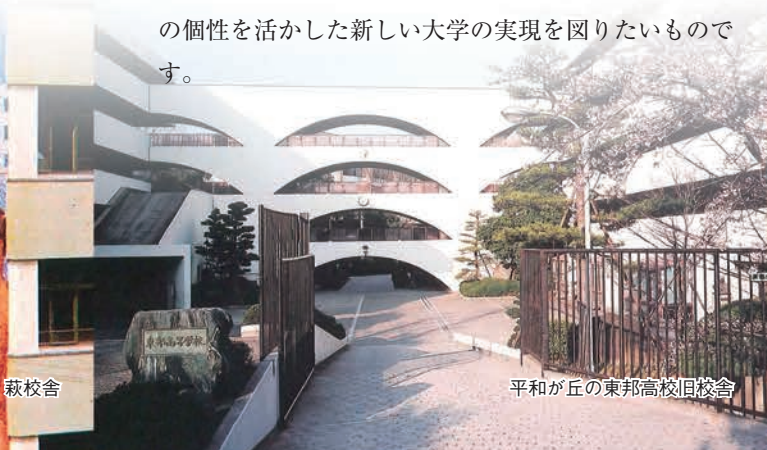
東邦高等学校校長 長沼 均俊

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、学園創立90周年の記念行事を検討し始めた矢先、サッカー部が第91回全国高校サッカー選手権大会への出場を決めました。雨中のPK戦を制し感激の涙に浸る選手や関係者の姿に、一日千秋の思いで待ったこの日にかかる強い気持ちが伝わってきました。

「クラブ活動が活発」と評価される本校ですが、その源流は戦前にあります。昭和9年、甲子園初出場にして初優勝の硬式野球部が成し遂げた戦前3回の全国制覇に発奮した他クラブの生徒たちは、互いに切磋琢磨する中で全国出場を果たすようになります。戦前の東邦の名声は、まさにクラブ活動の黄金期と共に定着したと言えます。創立10周年を過ぎた頃には、それまでの知育と徳育の統合に加えて、体育—スポーツ教育の「三位一体」が強調されています。

教育には、「不易」と「流行」という俳諧の公理がよく引用されます。私学であれば守り続けるべきものは建学の精神であり、時流にそって変えなければならぬのは人や社会が必要とする教育内容だと私は考えています。この激しく変化する時代、校訓「真面目」の意義を再認識し、未来を見据えた創造的な教育実践に挑戦したいと決意しています。



新校舎

平和が丘の東邦高校旧校舎



東邦学園短期大学(2008年開学)

高校の行事

思い切り楽しんだ学園祭

生徒会顧問 水谷 光博



10月2日(火)、台風一過、好天の中、「絆」を大切にしようという選手宣誓に始まった体育祭は、全校生徒・教職員の協力で予

定通り全ての種目を実施できました。多くの競技種目や団体種目そして、総力をあげた応援合戦、縦割りで声を上げた応援団。そして、伝統の1年生全員による花笠おどりは最後に五輪(オリンピック)の花を咲かせ、盛り上がり彩りを添えました。

文化祭(9月28日(金)・29日(土))は、テーマ「東邦祭(ヒガシノクニマツリ)ver.2012」を掲げ、クラスごとの展示、バザー、舞台、模擬店、教室パフォーマンス、クラブ発表、有志バンド・ダンス、PTA・同窓会企画などに組み込みました。その他、福祉の店は焼



きたてパンと雑貨の販売。また、デイサービスセンターの高齢者と職員さんを招待し、文化祭を楽しんでいただきました。昨年に引続き東日本大震災復興支援のための物資販売にも取り組みました。生徒たちは、仲間と力を出し合って、一つのものをつくりあげる喜びを実感することができました。その中で父母と教職員も大いに楽しみました。



キャリア教育 企業探求プログラムを実施

昨年度から調査・検討を続けてきたキャリア教育ですが、今年度から総合的な学習の時間を利用してキャリア教育プログラムに取り組んでいます。



ブレインストーミングで盛り上がる生徒たち
間を利用してキャリア教育プログラムに取り組んでいます。

まだ試行的な取り組みではありますが、本校1年生の商業科・美術科・文理特進コースの5クラスを対象に、企業探求プログラムに取り組んでいます。企業探求プログラムは、実在する企業6社を舞台に、教室にいながらインターンとして取り組む教育教材です。グループワークを基本としながら、企業からのミッションにチームで話し合いをしながら取り組み、これまで受動的な学習を積んできた生徒たちが、能動的な学習のスタイルに取り組む授業を行っています。

本校のキャリア教育は建学の精神に基づく教育であり、これからの人生で自らが主体的な行動を起こせるために必要な能力を養う教育が始まっています。

高校インターンシップ

進路指導室 池田 暁生

インターンシップを8月に実施しました。今年度は昨年度より参加生徒が増えました。参加者の全員が商業科ということもあり、日常の授業で学んでいる簿記に関する仕事や、グラフィックデザインに関する仕事を実際に経験することができました。参加したどの生徒も、普段



研修担当者から真剣に話を聞く生徒たち(左2人)

徒も、普段学んでいる学校の授業の応用が仕事に繋がること、社会で求められる技術の高

さを改めて認識することができた貴重な体験でした。

9月に開いた報告会では、受入れの実習先の担当者もお越しいただき、教職員・生徒約60人の前で、またさらに学年集会でも1年生全員の前で、学びの発見を発表しました。インターンシップで学んだことを、残りの高校生活とともに、これからの学びに繋げて欲しいと思います。

グラフィックデザイン 高校美術科／商業科GDコース 卒業制作展

美術科教諭 岡本 増吉

今年度第20回目の節目を迎えた卒業制作展が11月6日(火)～11日(日)まで愛知県美術館で開催され、1,766人の来場者があり盛況のうちに終了しました。約半年を費やし準備した内容は、高校3年間の集大成として



深く観る側に訴えることができましたと思われます。

来場者は大学、高校、中学の先生方を中心に、

保護者、画廊関係者や作家など多岐にわたり、様々な御高評をいただき、総じて全体レベルが高く良い作品が多かったとの声が聞かれました。

さらに今回初のことですが、美術科一期生、四期生の卒業生が中学校の現場で3年生の担任をやっており、生徒共々展覧会を観に来てくれました。先輩が後輩を育てるという関係は以前からありましたが、ここまで



明確化してきたのは20年経過してきた成果です。この卒業制作展をきっかけに、出品者の成果が上級学校に向けての進路対策や日常課題にも生かされることを願ってやみません。ご来場いただいた先生方、教職員の皆様、ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

高校美術科 フランス美術館をめぐる旅

美術科教諭 岡本 増吉

パリ研修旅行企画立案のきっかけは、2002年に茨城県立取手松陽高校が会場だった全国美術高等学校協議会に初参加させていただいた時です。情報交換会で修学旅行先をヨーロッパにしている高校が複数存在することを知ったのです。募集の目玉にしている学校もあり驚いたのが昨日のようです。

本校でもすでに中国への海外修学旅行は実施されており、そこでの平和教育や姉妹校交流もたいへん有意義でありました。この経験を生かしながら校務と連携して2011年度から本場の美術を鑑賞してくる企画を具体化してきました。試行として実施するにあたり、昨年秋に行き先、予算も含め在校生と保護者にアンケートを行い、その結果を踏まえて今回のパリ研修旅行を立ち上げました。1、2、3年生美術科、GDに有志募集をかけたところ1年生美術科23人、GD2人、2年生美術科19人、3年生GD1人、合計45人が参加する団体旅行となりました。

時代と生徒のニーズに応えるべく内容を精査し、12月24日(月)～12月29日(土)の4泊6日の旅となりました。引率教員は3人、添乗員1人で行ってきました。主にルーブル美術館、オル



セー美術館、ポンピドゥーセンター、などの芸術作品を鑑賞し、スケッチもしました。この試行結果をもとに、今後どのような内容に充実するかを探ってみたいと思います。

大学の行事

大学祭 第48回「和丘祭」 テーマ「つながる+ONE」を終えて

学生委員長 宗貞 秀紀

第48回「和丘祭」のテーマは「つながる+ONE」でした。ひとりひとりの「つながり」を大切にしたいのなかで、自ら「成長」していく姿をテーマとしています。学生による大学祭実行委員会のメンバーで考えたテーマです。良いつながりは心に響き感動を提供してくれます。その感動は自分自身の成長へと変化することを指します。

さて、今年の取り組みは、学生会役員と学生委員、相談支援担当教員との親睦交流合宿を踏まえて、大学祭等の諸行事の推進を確認しあって進めました。

初日の11月17日(土)は、昨年と同様に雨天という不運な天候で開始されました。しかし、翌日の18日(日)は前日と異なり、天は私たちのキャンパス上空にさわやかな秋晴れを運んでくれました。

地域の方々をはじめ多くの方々にご来場いただき、キャンパス内の各種の模擬店、展示会、野菜市、クロリティー大会、お笑いライブ、仮面ライダーショー、図書館コンサート、珉光幼稚園絵画展、囲碁将棋イベント等にも足を運んでいただきました。

出展プログラムは、食べ物を主とした模擬店のほか、教室を有効に利用した「被災地の現状写真展」、「箱庭療法」の体験、「現代的就職状況説明会」等と広い分野にわたりました。

地域の皆さんと学生との交流や触れ合いを通じて心に響き合う感動は、人間同士の信頼感を造成したものと見ています。

海外留学 最近の傾向

地域国際交流委員長 小野 隆生

愛知東邦大学は、現時点でアメリカ、ニュージーランド、イギリス、スウェーデン、中国の合計5つの大学と提携を結び、学生を送り出していますが、送り出し方には、大まかに言って2通りの方法があります。

1つは、あらかじめ大学側が派遣先の大学を決めて行う2週間の短期海外研修です。具体的には、毎年9月と2月あるいは3月の2回実施しています。

もう1つは、募集を経ずに学生本人の側



から希望が出され、教授会の承認を経て実施される6カ月あるいは1年間の留学です。

このなかで、最近の傾向として指摘できるのが後者を希望する学生の増加です。そのほとんどがアメリカあるいはニュージーランドの大学におけるESL(English as a Second Language)研修、要するに英語の勉強が目的です。学生の多くは、前者の短期海外研修で感触を掴み、その上で中・長期を希望するようになるのですが、なかには、いきなり最初から後者を希望する学生もいます。小さい頃から家族で何度も海外旅行に行った経験があるのでしょうか。海外といえど、何ら臆するところがない猛者もいます。本学スタッフとしては、彼らが安全で有意義な生活を提携校で送って欲しいと願うばかりです。



新・インターンシップに向けて

経営学部地域ビジネス学科准教授 手嶋 慎介

本年度のインターンシップでは、経営学部地域ビジネス学科9人の学生が8月から9月に各事業所でお世話になりました。昨年度履修しなかった3年生のみが対象者となる、旧カリキュラムとしての開講ということで、少人数での実施となりました。少人数ではあるものの、ゼミ担当教員による実習先訪問や11月の和丘祭での「インターンシップ報告会」なども例年通り行われ、充実したものとなりました。

インターンシップ実習を終えた学生諸君のレポートは「インターンシップ報告集2012」として取りまとめました。この中には、大学祭でのプレゼンテーション資料も掲載するなど、ささやかながら来年度に向けた新しい試みもされています。

来年度は科目名称が新しくなり、より一層の充実を図ります。最後になりましたが、学生を受け入れていただいた実習先の方々に厚くお礼申し上げます。



前列4人は本学実習生



留学した学生の声 留学で学んだこと

人間学部人間健康学科3年
牧嶋 泰紘

私は留学をする前まで、YESかNOしか英語を話せませんでした。その上、留学すると決まっても、英語の勉強は、少しもしませんでした。今、自分で考えると自分の考え方の甘さを凄く実感します。

アメリカに着き、自分のしてきたことを心から後悔しました。初めて会ったホストファミリーとは、会話をすることが全くできなく、何を言っているかすらわかりませんでした。その日から私は、とにかく勉強しようと決めました。もちろんいくら1日中勉強したからといって次の日に、英語がすぐ話せるわけもなく、留学して6カ月は、毎日がとても辛かったです。でも、とにかく勉強を続けました。そのおかげで日常会話く

NPO法人との地域活性化の取り組み

経営学部地域ビジネス学科助教 寺島 雅隆



NPO法人のイベント広告

今年度、私は「NPO法人シェアハウス光が丘」の地域コーディネーターとして、学生たちと地域活性化に取り組みま

した。このNPO法人は、地域の障害者・高齢者・引き篋もりの方などを扶助することを目的としています。今年度、WAM(独立行政法人福祉医療機構)の助成を受けており、3つのイベント運営を行いました。

その第一弾は10月20日(土)に行った地域交流事業で、法人所在地に地域の方を集めて、本学学生と共に交流・歓談を行いました。

第二弾は11月17日(土)・18日(日)に本学の大学祭において、私のゼミとの共同企画でクッキーを販売しました。その利益は全て、この法人に寄付しました。

第三弾は、12月1日(土)に北区の柳原商店街において、卓球大会を開催しました。「NPO 法人ライフステーションあいち」と連携し、本学学生との卓球対決などの企画で盛り上がりました。

らいは、話せるようになり友達もたくさんできました。このことから続けたいへんさと貴重さを学びました。

そして、もう一つ大きなことを学びました。それは、トライすることの大切さです。どんな大きな夢にも不可能なことはないと思います。もし今、これを読んでいて留学したいとか、なにか将来やりたいことがあるという人はとにかくやってみてください。私は、アメリカに行く前「すぐに帰ってくるだろう」となどと散々言われ、アメリカに行ってから英語ができないという理由で馬鹿にされました。このように自分がやりたいと思ったことは、そんなに簡単にいくものではありません。けれど、とにかく自分が決めたことをやり通す。トライすることで絶対に学ぶものは、あります。人から無理と言われたからと言ってそれを諦めないでください。とにかく自分のベストを尽くして、トライしてみたら絶対に何か掴めます。“できるかどうかではなく、やるかどうかです。”

愛知東邦大学では専門科目などの学習で習得したものを、実社会での経験を通じて発展させ深める地域連携PBL (Project Based Learning)を実施しています。

TOHOわくわくフットサルフェスタ開催

経営学部地域ビジネス学科4年 松 駿悟

10月7日(日)経営学部大勝ゼミとフットサルTioのコラボによる「TOHOわくわくフットサルフェスタ」を開催しました。このイベントは一般大学生を対象にしたイベントで、大勝ゼミの2年生、3年生、4年生が企画から準備、運営までを行った初のイベントです。

企画当初は、学生間にこのイベント運営に対するモ



チベーションの差があり、なかなかまとまりませんでした。しかし、ミーティングを重ねるごとに各自が役割を認識し、イベントの成功に向けて取り組むことができました。このイベントでは、フットサルだけでなくそれ以外の雰囲気も楽しんでもらうことを目的にしました。そのためレゲエDJを呼んだり、フリースタイルパフォーマンスの実演を行ったり、キックターゲットやネイルアートなども催しました。その甲斐があったのか、参加者から「楽しかった」と言っていたことができました。

私は、このイベントを通して経営や組織を動かすことの難しさを学びました。また、周りの人の協力がどれほど大切なものかも認識できました。そして、イベントを成功させた時の喜びや達成感も感じる事ができ、裏方の仕事の楽しさも知ることができました。ぜひ、来年も第2回を開催してほしいと思っています。

情熱コン企画

経営学部地域ビジネス学科助教 寺島 雅隆

出逢いマッチングプログラム 開催 2012-2513
チャンスの神様降臨!

第1弾 地域活性化貢献プロジェクト

情熱コン

一社の街が活気に染まる!?
名東区一社駅周辺 協力: 経営学部 寺島ゼミ (愛知東邦大学)
<http://www.jyoukon.com>

2012/11/25(日) 受付13:30~14:00~17:30

参加者
男性①20~24歳枠:12人(未婚ペアー 6組) 6,500円×2人/ペア=13,000円
男性②25~50歳枠:90人(未婚ペアー45組) 7,000円×2人/ペア=14,000円
女性①18~24歳枠:30人(未婚ペアー15組) 3,500円×2人/ペア= 7,000円
女性②20~45歳枠:72人(未婚ペアー36組) 4,000円×2人/ペア= 8,000円

※男性1:女性1は大学生・各種専門学校生に限らせて頂きます。当日は学生証の提示が必要です。
※男性1は女性1と、男性2は女性1・2と、女性1は男性1・2と、女性2は男性2とめぐり出逢えます。

寺島ゼミ全面協力による「街コン」イベント広告

経営学部2・3年生寺島ゼミでは、11月25日に「街コン」(街を盛り上げる合コン)を実施致しました。

一社駅周辺の飲食店9店舗において、男女各100人ほどが集い、食事と出会いを楽しみました。告知に関しては、11月3日の中日新聞朝刊に取り上げてもらうことができました。

大学で「街コン」を企画することは以前では考えられないことかもしれませんが、地域活性化と少子化対策の一手段として「街コン」は有効です。学生たちは、前期から飲食店を営業開拓・折衝し、広告・集客を行いました。一社駅や星ヶ丘駅においてビラ配りもしました。当日はスタッフとして参画し、飲食店に利益をもたらし、街の活性化に貢献しました。

学生たちは、参加者の笑顔に達成感を感じることができ、これから始まる就職活動に向けて、ゼミ活動の成果をアピールする機会と自信を得ました。

大学資格取得・就職

愛知県高校保健体育教諭・ 名古屋市中学校保健体育教諭に合格！

愛知県と名古屋市の教員採用試験の結果、愛知東邦大学人間学部人間健康学科4年の学生が高等学校・保健体育の教員として、同学科2011年度卒業生が名古屋市の教員(中学校・保健体育)として、それぞれ来春より教壇に立つことになりました。

NSCA CSCS 認定試験に 3人合格！

CSCS (Certified Strength & Conditioning Specialist 認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト)は、傷害予防とスポーツパフォーマンス向上を目的とした、安全で効果的なトレーニングプログラムを計画・実行する知識と技能を有する人材を認定する資格です。NSCAの今年度のCSCS認定試験では、3人受験し3人合格しました。内2人は初の現役合格になります。

合格者

人間学部人間健康学科4年	芝 純平さん
人間学部人間健康学科4年	北川 仁志さん
2010年度卒業生	天毎木 大地さん

保育士・警察官・消防士に！ 地方公務員試験に合格

人間学部子ども発達学科4年生の学生1人が地方公務員試験(保育士)に合格しました。

また、経営学部地域ビジネス学科4年の学生が地方公務員試験(警察官)に、人間学部人間健康学科4年の学生2人が地方公務員試験(消防士)に合格しています。

名古屋大学大学院合格

経営学部地域ビジネス学科4年の学生1人が、名古屋大学大学院(文系)に合格しました。



就職活動の本格的な始動に向けて

就職委員長 深谷 和広

12月1日から2014年3月卒業予定の学生の就職活動が一斉にスタートすることに合わせ、就職委員会では後期より現3年生に向けて就職について考えるイベントを企画し、学内にて開催しています。

今年度は就職ガイダンスの他、10月23日(火)・26日(金)に本学の卒業生による「OB・OGセミナー」、11月6日(火)、8日(木)、9日(金)には各業界の採用担当者をお招きし「業界別セミナー」をそれぞれ開催しました。早い時期から社会の第一線で活躍されている方々のお話を生で聞く機会を学生に対して設けたことは、これから就職活動を始めようとする学生の意識やモチベーションの向上に大きく繋げることができ



たと感じています。

今後の予定としては、例年開催されている「就職合宿」を2月に開催(子ども発達学科は3月)します。

2月26日(火)・27日(水)に企業約50社が出展する予定の「学内就職支援相談会」への学生参加を確実に繋げ、目標として掲げている最終就職決定率85%以上を達成できるように就職委員会として就職支援活動を進めていきます。

地域創造研究所

防災力を高める 取り組みを実施

地域創造研究所長 御園 慎一郎

東日本大震災から一年半が過ぎました。我が国の観測史上最大規模の地震とそれによって引き起こされた津波災害、原子力発電所の事故は、今もなお我が国に様々な影響と深刻な被害をもたらしています。しかしながら、被災地に関する報道は次第に数が少なくなり、時間の経過とともに災害そのものが遠くに行ってしまった気がしてなりません。

本研究所では、震災発生後、災害について考える「東日本大震災」研究会を立ち上げました。昨年度は地域の皆さんの参加も得て4回開催しました。1回目は名古屋市消防局の瀬田氏から被災直後の現場の状況を、2回目はボランティア団体「NPOレスキューストックヤード」の栗田氏からボランティア活動の大切さを学びました。3回目は現地でボランティア活動した本学の高校生・学生からの報告を受け意見交換をしました。4回目は「減災のための地域づくり」をテーマとしてシンポジウムを行いました。

本年度は、地域の特質を踏まえて災害への対応を考えることをテーマに研究会を開催しています。1回目



名東区内のフィールドワーク風景



第1回「地域減災」研究会

は「地域の成り立ちを知り、防災力を高めよう～南海トラフ巨大地震に備えるために～」をテーマに、名古屋市消防局木全誠一防災室長から名東区の歴史や地域特性を踏まえた災害の捉え方を講演していただきました。2回目は「街を歩いて身近な地域の成り立ちを知り、防災力を高めよう」をテーマとして地域の皆さんと名東区内のフィールドワークを行いました。3回目はフィールドワークに基づいたワークショップを実施しました。

また、11月17、18日の大学祭では「3.11の現地を見る大写真展 ― 遠い日にしないあの時」と題して大震災のパネル展と講演会を行いました。

さらに、11月25日(日)には、東日本大震災の被災地や、世界各地の難民キャンプや戦争、災害被災地などで医療支援活動が続けられる桑山紀彦氏による映像と自作の音楽による公演「地球のステージ」を開催しました。



図書館

大学図書館イベント

2012年度も季節に合わせいろいろなイベントを開催しました。その一部をご紹介します。

4月はスタートの季節です。新たに何かをはじめのきっかけづくりとして「ブックランナー2012」（絵本コースは100冊・図書コースは20冊を読破する）「お散歩ブックス2012」（携帯に便利な文庫本、新書本を持って街を歩こう！）「ケータイ写真コンテスト」（写メールでみんな芸術家！）を実施しました。

7月の「七夕まつり」では、世界平和や身近な人々の幸せなどを願う祈りの短冊が多数寄せられ、学生たちの優しさが伝わってきました。

10月から11月は全国読書週間にあわせ、学生参加型のイベントを実施しました。昨年大変好評だった「たっちゃんの紙芝居」が再登場。当日は東



たっちゃんの紙芝居



読み聞かせコンクール

邦高校生や地域からの参加もあり、満員の会場内はたっちゃんのパフォーマンスにすっかり魅せられ笑声で溢れました。

今年で4回目となる「読み聞かせコンクール」では学生が各自お気に入りの絵本を朗読披露してくれました。緊張感漂う姿は微笑ましく、この挑戦を自信にしたいです。

このほか学生の目線で図書を選ぶ「学生選書ツアー」を実施。12月には「今年の一文字」として、個々の心に浮かぶ一文字を毛筆で書き、館内に掲示しました。

まさに一年を締めくくるイベントです。

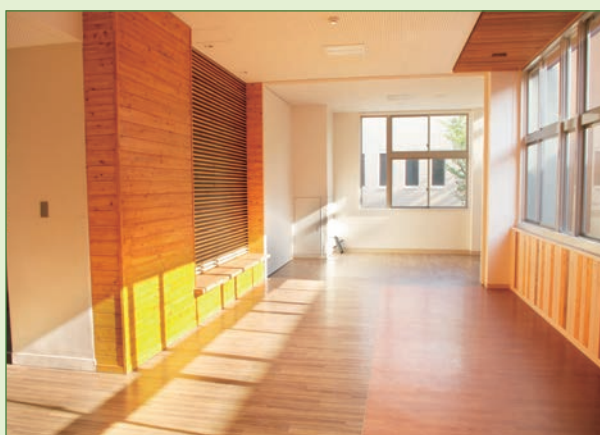
これらの活動が学生の学習支援や地域貢献に繋がっていくことを願っています。

是非、図書館へお気軽にご来館ください。



学生選書ツアー

大学校舎の耐震改修工事は 夏工事が終了しました。 引き続き年度末に向けて 工事を行います。



環境にやさしい学修空間



多目的トイレ

夏工事では、次のように整備しました。

1. エコキャンパス

B棟及び扇形棟、S棟では高効率の空調設備を導入、照明器具はLEDによる省エネだけでなく、照明制御装置を整備しています。

2. 環境にやさしい学修空間

愛知県産のヒノキの間伐材を教室や廊下に取り入れて、環境にやさしく暖かみのある学修空間を整備しました。

3. 外装工事

S棟に大学のサインを新たに取り付け、外壁をクリーニングし、B棟の外壁を塗装し、概観もリニューアルしました。

A棟の吹き抜けガラス窓やB棟窓に断熱塗装塗布し、省エネ対策だけでなく、ガラス強化をしました。

4. 多目的トイレの整備

B棟とS棟に多目的トイレを設置。車椅子にも対応、幼児用便器、腸洗浄、オムツ替え台、着替えができるようチェンジングボードを設備しました。

今後の工事では、井水ポンプや受水槽を更新し、大学も井水を活用します。春工事では、太陽光発電設備工事や自家発電装置を設置し、緊急時に対応できるよう整備します。教室については、B棟、扇形教室の机や椅子を整備し、レクチャーラーニング教室やアクティブラーニング教室として多様な活用できる環境を整備します。S棟では、震災に備えアリーナの天井工事を行い、1階のホールや学生ラウンジ、厨房を整備し、学生が交流し、集える場所づくりを行います。

また、キャンパス中央のメインストリートを整備し、広がりをもたせ計画的な敷地内緑化を推進します。

キャンパス短信



名古屋発動機製作所に対する米軍の空撃により、犠牲となった本校教職員・生徒のご冥福を祈るために毎年続けられています。

冬空の下、当時の教え子であり同級生の辰巳会の方々をはじめ多数の参列がありました。

榊理事長の挨拶では、昨今の不安定な国際政治事情から「時代や世界の動きを冷静に受け止め、主体的に判断できる力」を備え、平和で思い遣りのある社会を築けるよう、教育機関としての役割を果たしていくとの決意が語られました。

法人

「21TOHO教育充実事業募金」 ～ご協力に深謝～

21TOHO教育充実事業募金事務局

学園では教育環境整備、施設設備の充実、教育研究活動の奨励に取り組むため、21TOHO教育充実募金活動を展開しております。これまでも多くの方々から多額の募金を頂戴し、高校新校舎の建築や大学新学部の増設およびグラウンド新設のための資金として運用させていただきました。

また本年9月には、高校8回卒業生の仲正興氏が本校を訪問され、500万円の募金を頂戴いたしました。皆様方からのご支援に対しては、「人格教育」を重視する建学の精神に立った21世紀に有意な人材を育て、卒業生が実業界をはじめ各界で活躍することで恩返しさせていただきます。

なお、募金についての要項ならびに寄付金の免税措置につきましては、大学・高校の各ホームページにも掲載しております。今後ともご理解を賜り、ご賛同をいただけますよう衷心よりお願い申し上げます。

大学・高校

今年も大成功！“納涼音楽祭”

高大連携協議会

8月25日(土)夕闇の中、東邦学園主催「行く夏を惜しむ納涼音楽祭」が開催されました。

今年で第3回を数えるこの催しは、既に地域の方々の楽しみの場となっているようで、来校された方々からは「今年も来ました」「期待しています」などの嬉しい言葉をいただきました。



大学生の楽しい紙芝居に子どもたちは夢中

大学・高校

慰霊の日 今年も肅々と

12月11日(火)、慰霊の日の献花式がおこなわれました。これは1944年12月13日当時の三菱重工業株式会社



東邦高校生生徒会長からも祈りの言葉が述べられた

オープニングは、愛知東邦大学子ども発達学科学生有志による子ども向け企画。プログラムは子どもへの思いや工夫に溢れ、おおはしゃぎの子どもたちの姿が印象的でした。続いて、地元のフラダンス教室の方々によるフラダンス、愛知東邦大学吹奏楽団、故郷踊りの会の方々、地元の豊薔会平和が丘教室の方々による盆踊りなど。

プログラムの終盤を飾ったのは、東邦高校吹奏楽部



クライマックスの花火

の演奏でした。何度も全国大会・東海大会に出場しているクラブだけに、聴き応え見応え十分でした。

次はいよいよ花火です。昨年以上にパワーアップした今年の花火の目玉は「ひまわり」。子どもたちの歓声と大人の息をのむ様子は、火の粉を浴びながら花火を手にするスタッフへの最高のねぎらいでした。

今年は、正門付近を飾った風鈴が帰る子どもたちに配られ、帰宅されてからも家族で余韻を楽しんでいたことでしょう。参加された400人の方々からいただいたアンケートでは、「大変満足」71.5%、「満足」26.3%と、これまで以上の評価をいただきました。

大学

2012年度 教員免許状更新講習の実施

教員免許状更新講習WG

今年度の愛知東邦大学教員免許状更新講習が12月1日(土)・2日(日)をもって終了しました。

本学の教員免許状更新講習も4年目となりましたが、昨年度に引き続き6・7月と10・11・12月の期間で、本学の開講講座をすべて受講すれば教員免許状の更新が可能になるよう、必修領域を2講座、選択領域を6講座の合計8講座を開講し、延べ278人の先生方の参加をいただきました。

今年度の講習の特徴は、新規講座を3講座開講したことです。特に初めてグループワークを取り入れた講座については、受講者には好評だったようです。

今年は、申し込み初日に応募が殺到することはありませんでしたが、最終受講者は全講座で定員の6割を超え、本学の教員免許状更新講習も定着してきたようです。

高校

第7回中学生英語スピーチコンテスト

国際交流室長 伊藤 保憲

2012年11月4日(日)に8つの後援団体からお力添えをいただき、第7回中学生英語スピーチコンテストを行いました。このコンテストは、英語や国際交流に関心を示す中学生の皆さんが日頃の学習成果を発表する場を作り、大きな学びの場を作ろうと始めた企画でした。今年度は、東海三県から52校151人の応募があり、過去最高の出場校数でした。



流暢な英語スピーチが続く

レシテーション部門、スピーチ部門ともに言葉だけでなく、心で伝えようとする情熱を感じる発表ばかりでした。近年の傾向としては自分で文章を作るところから始めるスピーチでの参加が多くなっていることです。出場者の皆さんは当日を迎えるまでにたくさんの時間を練習に費やされたことと思います。また熱心にご指導に当たられた先生方にも敬意を表したいと思います。

来年度たくさんの中学生の皆さんが、積極的にご応募されることをお待ち申し上げております。



念願の

全国高校サッカー選手権



愛知県大会					得点者
10/21	2回戦	東邦	5 - 1	豊田北	増本海斗、山田貴斗、高橋歩睦、水野翔太、OG
			1 - 1		
10/27	3回戦	東邦	0 延 0	愛産大三河	山本悠斗
			4 PK 2		
11/3	準々決勝	東邦	4 - 3	刈谷	水野翔太3、高橋歩睦
11/11	準決勝	東邦	2 - 0	三好	水野翔太、青木公則
			0 - 0		
11/17	決勝	東邦	0 延 0	岡崎城西	
			2 PK 0		
全国大会 12/31					1回戦 対 鵬翔

大会出場

岡崎城西高校4人目のキッカーが大きく枠を外した。その瞬間終了のホイッスルとともに東邦高校の全国大会出場が決まった。平成24年11月17日(土)名古屋グランパスの本拠地でもある瑞穂陸上競技場で、全国高校サッカー選手権大会愛知県大会決勝戦が行われた。

岡崎城西とは今年4度対戦しており、2勝2敗お互いに手の内を知り尽くしていた。試合が始まり、東邦高校の前線からのプレスが効果的にかかり城西陣内に押し込むものの、城西の粘り強いディフェンスもあ

り得点を奪えない。逆に後半になると、城西のパスサッカーの前に東邦の守備は崩される。しかし、GK西浦・DF山田を中心に何とか守り切った。0-0のスコアレスのまま前後半、延長戦も終了しPK戦となった。東邦高校の1人目が城西GKに止められるものの城西のキッカーをGK西浦が1本もゴールを割らせない神がかりのセーブを見せ、この日決勝に集まった約4,300人の観衆を魅了し、PK戦を勝利することができた。

サッカー部顧問 澤田 洋平

今年のチームも前評判は高くなく、この大会まで無冠に終わっているチームでした。しかし、全国大会の切符を手にしたのはまさしく選手たちの力、東邦高校サッカー部員の底力であると思います。また、東邦高校サッカー部を応援してくださった皆様のサポート

のおかげであります。心から感謝申し上げます。冬の全国高校サッカー選手権大会出場は9年ぶり、夏のIHを合わせると11回目の出場となります。愛知県の強豪校から全国の名門校へ、さらに努力を重ねていきたいと思っています。

選手権登録メンバー

1	3年	西浦 駿斗	6	2年	伊佐地康佑	13	3年	橋本 夕日	20	3年	土肥 亘祐
2	3年	山田 貴斗	7	2年	水野 翔太	14	3年	青木健太郎	21	3年	山内 一輝
3	2年	松本 拓丸	8	3年	桑山 圭介	15	3年	青木 公則	22	3年	湯浅 敬人
4	3年	伊藤 優平	9	3年	山本 悠斗	16	3年	野田 裕也	23	3年	上田 竜輔
5	2年	遠近 拓朗	10	3年	高橋 歩陸	17	2年	増本 海斗	24	3年	堀井 翔平
			11	2年	南 祐希	18	3年	新美 勇氣	25	3年	橋口 怜央
			12	3年	川口 祐生	19	1年	片寄 圭人			

クラブ活動 高校

硬式野球部

夏への始動

硬式野球部部長 小嶋 裕人

東海大会を終え、部員全員(選手84人・マネ2人)が夏への第一歩を踏み出しました。投手陣は、右の石田健人マルク・左の三倉進を中心として更に成長しています。守備は、捕手松井を中心に内野手の小川・太平・寶島・原田と磨きがかかってきました。外野手の三倉・関根・高木は強肩が魅力です。打撃陣は、長打力のあるバッターが揃い、たとえツーアウトからでも大量得点が取れる爆発力があります。応援はもちろん日本一です。

この冬をしっかりと鍛え、来シーズンには更に強い東邦野球をお見せできるよう、全員で頑張っていきます。皆さまの温かいご支援・ご助力をお願いします。



私学4強交流戦 優勝メンバー

ダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2012を終えて

ダンス部顧問 伊藤 恵子

“Fire fighter”の完成は東海大会直前でした。年々、大会やイベントの機会が多くなり、それぞれの舞台条件が違うため、踊り・フォーメーション・衣装等創り変える作業にたくさんの時間を要します。春から複数の大会、イベントの作品と平行しながら、ぎりぎり

完成した作品です。全国大会では、本番直前のアップができないというトラブルがあったもののメンバー12人は、残り39人の部員の想いを心に強く感じながら、プレッシャーをはねのけてのびのびと踊りきりました。おかげさまで昨年同様、HIP HOP(S)部門で第2位を受賞することができました。支えて下さっている周りの方々がいてこそだと心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



ダンスドリル選手権で躍動する東邦生

女子バスケットボール部

一瞬の喜びのために

女子バスケットボール部顧問 川口 明香

女子バスケットボール部は今年、愛知県の選抜優勝大会名北支部においてベスト8に入り、久しぶりに次大会のシード権を獲得することができました。勝利に飢えていた選手たちは、自分たちの成長をかみしめると共に心から喜びを味わいました。



県大会を目標に練習に励む女子バスケットメンバー

結果としてはまだまだではありますが、選手たちはチームが一つになるということの重要性に改めて気付かされたはずです。練習においても、学校生活においても、“個人であり、チームの一員である”ということをしかりと受けとめ、県大会を目標に日々練習に取り組んでいます。ぜひ応援していただけるようお願いいたします。

吹奏楽部

広がれ東邦マーチング

吹奏楽部顧問 白谷 峰人

今年の東邦マーチングはいつもと少し様子が違いました。昨年10月から日本テレビの人気番組『1億人の大質問!? 笑ってコラえて!』の人気コーナー『吹奏楽の旅マーチング編2012』の密着取材を受けました。県大会を1位通過し今年こそ全国へと意気込んでいた東海大会10日前から、朝練・昼練・放課後の練習とまさに密着で取材をしていただきました。取材に関してはここでは書ききれないほどの思い出があり、テレビマンのプロとしての仕事ぶりに感心しました。



テレビ局取材班と記念撮影

全国ネットでの放送も2回あり、今まで以上に東邦マーチングのことを知っていただけたと思います。放送の反響は大きく、メンバーたちの励みにもなりました。

大会の結果は…またもダメ金(金賞受賞だが全国大会へは出場できない)。悔しさを乗り越え、メンバーや保護者の皆さん、応援していただいた皆さんに本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。結果がでないのは指導者の責任です。

ただ、本番では会場中を東邦の空気にしてお客様の

心と繋がることができたと確信しています。

いつもご支援・ご協力いただいている保護者の皆様、応援していただいているすべての皆様に感謝しています。部員一同、この感謝の気持ちを忘れず日々精進していきます。そして来年は必ず大阪城ホールへ……!!

放送部

全国大会に出場して

放送部顧問 平上 純一



全国大会の会場（東京渋谷区のオリンピックセンター）にて

去る7月24日、私たち放送部は第59回NHK杯全校高校放送コンテスト全国大会の「創作ラジオドラマ部門」に出場しました。台詞だけで登場人物たちの心の動きや、場面の雰囲気表現し、「身近な人の大切さ」「自分を支えてくれる友人」というテーマを伝えることにチャレンジしました。

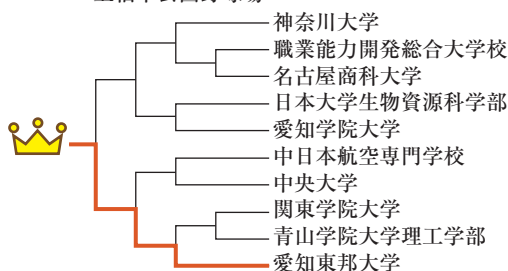
脚本は何度も書き直し、録音も納得がいくまで取り直しました。全国大会の準々決勝を突破することはできませんでした。が、後輩たちは、来年も全国大会に、「ラジオドラマ部門」だけでなく「アナウンス部門」や「朗読部門」でも出場できるよう、頑張って活動しています。



大学軟式野球部 東日本学生軟式野球選抜大会優勝!



決勝戦：平成24年11月26日(月) 10:00～
上柚木公園野球場



〈一回戦：不戦勝〉シードの為、不戦勝。

〈二回戦：青山学院大学理工学部〉6回裏相手に1点先制されるが、7回表に2点を取り逆転し、さらに8回表1点を追加。9回裏に1点を取られるが逃切り勝利。
結果：3-2

〈準決勝：中央大学〉1回表、5番伊藤がランニングホームランで3点先制。その後、9回表にも1点を追加し4-0で中央大学に勝利し決勝戦へコマを進めた。
結果：4-0

〈決勝：神奈川大学〉8回表に2点を先制した。神奈川大学の強力打線にエースの伊藤が点数を与えることなく完封し、優勝を手にした。 結果：2-0

軟式野球部顧問 村松 芳紀

念願である東日本大会優勝という軟式野球部の学生たちの大きな目標が達成することができました。特に中央大学には、前回大会と夏に開催された全国大会でも勝つことができず、悔しい思いをしてきました。今大会では、宿敵中央大学にも勝利し、なおかつ優勝ができたことで学生たちからはとびきりの笑顔と喜びが溢れました。今回の大会に向けてチームは、キャプテンの河本君を中心に全て学生たちで運営し活動してきました。その中で培われた自主性とチームワークが今回の大会で存分に発揮できたと感じています。学生たちには素晴らしい経験となりました。今後も引き続き学生主体の自由な軟式野球部を続けていきたいと考えています。

メンバー表

部長：中野 匡隆
10 河本 拓也(人間4)
捕手 秀岳館 右投右打
5 前田 浩平(経営4)
投手 東立和歌山商業 右投右打
6 田村 拓摩(人間3)
投手 高知農業 右投右打
18 伊藤 翔哉(経営4)
投手 内海 右投右打

19 小原 琢哉(経営4)
投手 豊橋西 左投左打
25 大堀 聖也(経営2)
投手 日本航空 右投右打
27 ポージン・ルーク(人間2)
投手 南山国際 右投右打
36 阿部 裕也(経営2)
投手 新潟青陵 右投右打
0 丸山 敬太(経営1)
内野手 東邦 右投右打

1 前原 浩平(経営4)
内野手 東立和歌山商業 右投左打
7 南 詩音(人間3)
内野手 金沢 右投右打
8 大城 雄太(人間4)
内野手 宜野座 右投右打
14 竹田 幸泉(経営3)
内野手 浜北西 右投左打
21 榊原 広志(人間3)
内野手 岡崎東 右投左打

3 能瀬 徹(人間4)
外野手 犬山南 右投右打
12 伊藤 史哉(人間1)
外野手 豊橋西 右投右打
22 野中 貴弘(人間4)
外野手 清水西 右投左打
45 西山雄太郎(経営4)
外野手 尽誠学園 右投右打
清水 美咲(経営2)
マネジャー いなべ総合学園

大学女子サッカー部 インカレ出場！



2012年度インカレ予選リーグ結果

	静岡産業大学	中部学院大学	至学館大学	中京大学	勝ち	負け	分け	勝ち点	得失点	総得点	順位
愛知東邦大学	× 0 - 6	○ 16 - 0	△ 0 - 0	○ 1 - 0	2	1	1	7	11	17	2

人間学部人間健康学科4年 平松 宏美

女子サッカー部は、創部以来「インカレ（全日本大学女子サッカー選手権大会）出場」を目標として活動しています。しかし、これまでの成績はどれも、出場の一手手前で負けてしまい悔しい思いを何度も経験してきました。本年度のインカレの東海地区予選は約2

カ月間かけて全チームでのリーグ戦で行われ、上位2チームが東海代表として、本大会への出場権が得られます。とても厳しい試合が続きました



たが、本学女子サッカー部は、東海の第2代表として、インカレ出場を決めることができました。

創部当時は7人で始めた女子サッカー部だったので、まともにサッカーの試合ができませんでした。それでも、インカレに出場したいと大きな目標に向かって、日々活動し成長してきました。今では、部員数も26人になり、思い切りサッカーをできるこの環境に感謝の気持ちでいっぱいです。本大会では、今まで以上に厳しい戦いになると思いますが、笑顔で東邦らしいサッカーを貫き通し、ベスト8目標にチーム一丸となって挑戦していきたいと思っています。

今まで支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。今後ともご声援の程、よろしくお願いいたします。

クラブ活動 大学

男子サッカー部

今後のサッカー部に期待を!!

人間学部人間健康学科3年 本間 裕斗



私たち
愛知東邦
大学サッ
カー部は、
「自らの
強みを生
かし最後
までやり
切る」を
スローガ
ンに日々

練習を重ね、東海学生サッカーリーグ戦1部リーグ昇格を目指しています。本年度は第30回愛知学生サッカー選手権大会においてベスト4という成績を残せました。また現在東海2部リーグに在籍していますが、3位の成績で終えることができ、1部との入れ替え戦に挑戦する権利を得ました。

初めての挑戦ですが、チーム一丸となって勝利を勝ち取り念願の1部リーグ昇格を狙います。結果はどのようなかわかりませんが、いつも応援してくださる方々の思いにこたえたいです。今後とも応援よろしくをお願いします。

吹奏楽団

3月の定期演奏会 お待ちしています♪

人間学部子ども発達学科2年 壺井 ひろこ

愛知東邦吹奏楽団は、2007年に創部しました。今年



パワーアップした吹奏楽団メンバー

は一年生が8人入部してくれて一挙に16人になりました。去年とは人数が全然違うことで戸惑うこともありますが、団員一丸となり日々活動しています。

また、定期的に行われる地域の清掃活動に参加するなど、音楽以外の活動も積極的に行っています。

11月の17日(土)、18日(日)には大学祭で演奏しました。雨にも負けず、去年よりもパワーアップした演奏を見てもらえたと思います。

最近、アンサンブルコンテストの練習や、3月10日(日)に尾張旭市文化会館で行う第3回定期演奏会の練習などを行っています。お時間がある方はぜひ定期演奏会に足を運んでいただきたいです。団員一同お待ちしております。

愛知東邦大学吹奏楽団定期演奏会

入場
無料

日 時：3月10日(日) 開場17:30 開演18:00

場 所：尾張旭市文化会館 文化会館ホール

東邦職Do!!

職業や仕事について考える、 学生のための学生によるサークル

人間学部人間健康学科2年 加藤 英人

2012年度の大学祭に私たちのサークル「東邦職Do!!」は初めて模擬店を出店しました。

このサークルは、社会を知り、職業や仕事について考えて就職活動につながる活動をしています。主な活動は、新聞の発行や企業訪問バスツアーの企画・運営です。

今年度最後のイベントとして、3月に企業の魅力を発見し職場を訪問する「バスツアー」を企画しており、この運営資金を賄うために大学祭の模擬店を出しました。バスツアーのバス代を捻出すべく売上の目標金額を設定して、天候に恵まれない中、2日間で目標を上回る売上があり、当初考えていた参加費を下げられる予定です。

今回、大学祭に参加したことによって、様々な問題点や改善点が見えてきました。この学んだことや気付いたことを他の企画にも活かしていきたいです。学生生活を送りながら、社会性を身に付け成長できるサークル、それがこの「東邦職Do!!」なのです。

茶道サークル

好評だったお茶会

人間学部子ども発達学科3年 高柳 久美

こんにちは、茶道サークルです。11月17日(土)には大学祭で、毎年恒例のお茶会を開催しました。私たちの流派は表千家で、週1回講師をお招きして、大学の和室でお稽古をしています。

大学祭は日ごろのお稽古の成果を皆さんにお披露目するサークルの一大イベントです。当日は、男性・女性ともに和服に身を包み、普段の雰囲気とは全く異なり、日本の伝統文化に触れていることを感じられる貴重な1日でした。



今年は、生憎の天気でしたが多くのお客様に足を運んでいただきました。季節を感じさせる和菓子(今年は「椿」を選びました。)と共にいただくお茶は、日常を忘れさせる空間を演出します。お客様から「ご馳走様」「ありがとう」と声をかけていただき、おもてなしの心を実感することができました。

日本の伝統文化の一つである茶道をこれからも真剣に学んでいくとともに、皆さんに少しでも「茶道」の楽しみをお伝えできるような活動に励んでいきたいと思います。

フットサル部

新ユニフォーム完成!!

フットサル部顧問 松井 慶太

2006年度に創部したフットサル部は7年目を迎えました。初代ユニフォームは、6年の間、愛知東邦大学の看板を背負ってくれました。今年度作成した新ユニフォーム(写真参照)は、2代目ユニフォームとして11月の公式戦でデビューしました。

作成にあたり、3年生を中心に話し合っって学園カラーの緑を基調としました。昨年の卒業生にユニ



フットサル部新ユニフォーム

フォーム変更の報告を兼ねて在学生から卒業生にプレゼントする計画もしています。新しいユニフォームに恥じぬ成績が残せるように、みんなで頑張

りたいと思います。今後も応援のほど、よろしくお願い致します!!

東日本大震災ボランティア 七ヶ浜町へ全国大学7位の 参加

東日本大震災のボランティアに、本学からも多くの学生が出向きました。そのうち大学生協が全国の大学から募集した七ヶ浜町でのボランティアに参加した学生数が、12月15日(土)の大学生協全国総会で報告されました。それによると、早稲田、東大、などに混じって、本学は名古屋大学に次ぐ7番目に多い参加者数でした。ただ、本学以外は大規模校が多く、学生数あたりで並べなおすと表のように本学がダントツ1位でした。もちろん大学生協以外の団体に参加して現地へ行った学生もたくさんありました。

大学生協ボランティア参加者数

(単位:人)

(参加者数順位)	学生数	参加者数	学生千人当り参加者数
愛知東邦大学(7)	1,121	21	18.7
鹿児島大学(2)	8,935	64	7.2
東京大学(3)	14,130	61	4.3
首都大学東京(5)	7,069	30	4.2
東京学芸大学(8)	4,955	19	3.8
名古屋大学(6)	9,758	28	2.9
埼玉大学(8)	7,461	19	2.5
千葉大学(8)	9,815	19	1.9
早稲田大学(1)	44,756	65	1.5
立命館大学(4)	32,524	35	1.1

こうした学生の熱意に対して、本学では「教職員・学生ボランティア活動支援委員会」を組織して支援しています。この委員会では学生諸君の多彩な支援活動を記録にとどめるため、昨年度参加した学生にレポートの提出を求め、写真のような報告書にまとめました。



パートナーシップ インフォメーション

東邦学園サポーター「フレンズ・TOHO」入会者募集中!!

個人でも、法人でも加入いただけます

「フレンズ・TOHO」事務局

「フレンズ・TOHO」は東邦学園の支援団体として、1996年に発足しました。現在(2013年1月現在)、個人会員数184人、法人会員数123社となりました。

愛知東邦大学「地域創造研究所」との協賛、就職課とタイアップしたインターンシップ、学内企業展への協力などおこないます。学生・生徒の皆さんには、全国大会出場クラブに激励と援助金を(本年度は、大学の軟式野球・女子サッカー部に、高校の空手・水泳・放送・ダンス・サッカー部に)贈呈しています。

会員向けには、講演・研修などを企画し、例えば2012年度の本会総会記念講演では、大谷昭宏氏(ジャーナリスト)を招き、「みんなの命輝くために～東日本大震災から1年3ヶ月・日本～」の演題で話を聞きました(会報『みどりの風』33号に概要を掲載)。10月には、京都大学霊長類研究所の林美里氏から『チンパンジーの子育てに学ぶ』との演題で話を聞き、子育てについて考える場としました。

「夏休み親子理科実験教室」(8月。写真)、「自然と親しむ会」(5月、8月)、「コーヒーを美味しく楽しむ」(10月)など、それぞれの時期に合わせた企画もおこないました。いずれの企画も会員だけでなく、一般の方からも参加をいただきました。これらの企画は地域に貢献、寄与することとなったのではないかと考えております。

こうした事業への参加を通して「触れ合うさまざまな人を仲間として、情報を発信・受信し合うこ



夏休み親子理科実験教室の様子

とにより、いろいろな生き方を学び、…『生涯学習の場』となる(設立趣意書)」ことを願っています。

保護者(保証人)や約4万人となる卒業生の中には、事業を立ち上げて活躍されている方、企業で重責を担っていらっしゃる方がおみえです。これらの企業のかたがたや学園近隣地域の企業の皆さまが当会に加入いただくことで、東邦学園のサポーターとなっていただくとともに、企業間協力や協業が生まれるように努力しております。多くの法人や個人に加入いただき、学園と企業との関係だけでなく、法人会員相互の連携や提携が生まれるためには、当会がコーディネーター役となります。

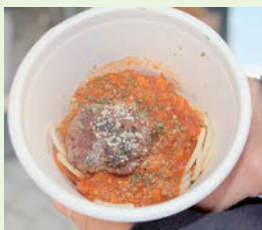
個人、法人の「フレンズ・TOHO」へのご加入をお願いし、本会をより大きく育てる上での力添えをください。

大学祭にも協賛

愛知東邦大学同窓会 邦友会

邦友会はさまざまな形で大学や学生への支援を行っています。11月に行われた大学祭にも例年同様協賛し、学生会への援助金と金券の発行・援助をしました。

役員有志による模擬店(ミートソーススパ・炭火焼きホルモン)では、初日の大雨に苦労しましたが、2日目にはたくさんの人出があり、盛り上がりました。



東邦会 総会予告

東邦高校同窓会 東邦会

祝 東邦学園創立90周年 東邦会記念総会

日時：2013年5月18日 14:00から
場所：名古屋ガーデンパレス
記念講演：第一級の舞台人の神髄を魅せる
江守徹の朗読劇
「次代へ紡ぐ躍動の波」



Active students

高校1年生が 県シンボルマークコンペで受賞

愛知県が募集した「あいちの教育シンボルマーク」コンペで「優秀賞」を受賞した東邦高校石川陽菜さんは、今年度、美術科に入学したばかりの1年生です。審査に立ち会われた関係者の話によると、石川さんの作品は一般からの応募者と最優秀賞をかけて最後まで競い合ったほど高く評価されたそうです。本人談では、切り絵が好きで初めてのデザイン制作に挑戦したとのこと。今後の飛躍が期待されます。



上が石川陽菜さんの作品

国体に参加して

人間学部人間健康学科3年 寺田 真有

人間学部子ども発達学科2年 田中 菜月

私たちは、10月1日(月)～4日(木)に岐阜県下で開かれた第67回国民体育大会女子サッカー競技に出場しました。選手は選考会が行われ、様々な年齢の選手が他チームや他大学から選ばれました。そのためはじめはコミュニケーションをとるのが困難でしたが、練習会や練習試合を重ねていく中でチームは少しずつ団結していくことができました。

国体では、どのチームの選手もとてもレベルが高く、学ぶことが多かったです。その中で私たち愛知国体チームは“サッカーを楽しむ”ことをモットーにプレーし、4位という成績を取めることができました。厳しい試合の中で、チームも個人も成長できたと感じています。貴重な経験ができたことを誇りに思い、自チーム(大学女子サッカー部)に生かしていきたいです。



田中 菜月さん



寺田 真有さん

愛知東邦大学 同窓生入試のお知らせ

愛知東邦大学・東邦学園大学・東邦学園短期大学・東邦高等学校の卒業生の子、または愛知東邦大学在学学生・卒業生のきょうだいに対して同窓生入試を実施します。

特典として愛知東邦大学の入学金が半額になるなど、一般入試と比べ条件も有利です。ぜひご利用ください。

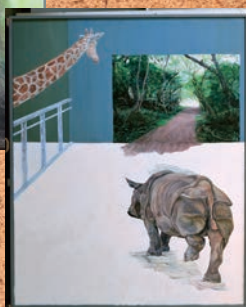
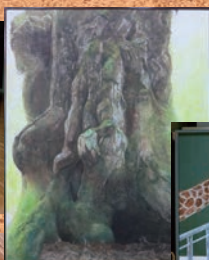
【Ⅲ期 出願期間】 2013年1月31日(木)～2月20日(水)

【お問合せ】 愛知東邦大学 入試広報課 電話：052-782-1600(直通)

		TEAM											KAMIYUGI										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	S	●	●	●	H	●					
		東邦大	0	0	0	0	0	0	0	2	0		2	B	●	●	●	E	●				
		神大	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	O	●	●		Fc	●				
TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9		TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
第33回											優勝												
東日本学生軟式野球選抜大会											最高の仲間とでっかい花火打ち上げたっただ!												

SEIKO

東日本学生軟式野球選抜大会 優勝



未来の芸術家たち展

(関連記事 5 ページ)

